

かんまき議会だより

令和7年11月1日号 第134号



元気いっぱい 上牧幼稚園 運動会



目次

一般質問	2～7
令和6年度決算報告	8～11
9月定例議会	12～13

議会改革特別委員会	14
議決結果・議会日誌	15
議会報告会・朗読劇「響け!長崎の鐘」	16

あなたの声を町政に！

一般質問一覧

上牧町の行政事務全般について、各議員が町側に考えを聞くのが一般質問です。

各議員は政策提言も含めて質問をすることができ、上牧町では制限時間は1人60分です。

議会だよりでは、一般質問原稿について、それぞれ質問をした各議員自らが要約し、編集したものをそのまま掲載しています。

まきうら 牧 浦	ひでとし 秀 俊	<ol style="list-style-type: none"> 1. 上牧町役場前の県道における環境整備について 2. 上牧第二小学校周辺における「夾竹桃」の安全管理と処分対応について 3. 新上牧中学校の教育目標・特化分野について
やすなか 安 中	かず 和	<ol style="list-style-type: none"> 1. 防災アラートの対応について 2. 避難行動要支援者登録制度について 3. 民生委員の実状について 4. 温暖化対策について
たけなか 竹 中	りょうぞう 亮 造	<ol style="list-style-type: none"> 1. 町内バス停の整備（特に屋根設置）について 2. 新上牧中学校の木材使用（内装材）について
はっとり 服 部	まさひで 公 英	<ol style="list-style-type: none"> 1. 公共施設及び都市計画について 2. 防災防犯対策について
やすむら 康 村	しょうじ 昌 史	<ol style="list-style-type: none"> 1. ふるさと納税制度と上牧町の現状について 2. 上牧町立小学校の統廃合について
かみむら 上 村	てつや 哲 也	<ol style="list-style-type: none"> 1. シェアサイクルについて 2. 災害時のペットの災害対策について
うじはら 氏 原	けんいち 賢 一	<ol style="list-style-type: none"> 1. 予防医療の推進による健康寿命延伸と保険料抑制について 2. 障がいのある子どもの学びを支える「通級指導」の拡充について
あずま あずま	はつこ 初 子	<ol style="list-style-type: none"> 1. 上牧町 2000 年会館の窓口案内の設置について 2. 視覚障害者をはじめ、あらゆる世代の移動時の安全確保について 3. ごみステーション方式から戸別回収への転換と、高齢者・障がい者世帯への支援について
いしまる 石 丸	のりこ 典 子	<ol style="list-style-type: none"> 1. 物価高騰対策について
たけのうち 竹之内	ごう 剛	<ol style="list-style-type: none"> 1. 町立小学校の適正化に関する取り組みについて
きうち 木 内	としお 利 雄	<ol style="list-style-type: none"> 1. 随意契約について 2. 落雷事故の防止対策について 3. ラスパイレス指数について

新設の上牧中学校について

未来志向の教育の実現を目指す



まきうら 牧浦
ひでとし 秀俊

問 新上牧中学校の教育目標や、重点な取り組みは。

答 基本理念としては「～自分らしさを未来へ～学ぶ・つながる・創造する」とし「学力に取り組むこと」「現在の中学校2校が集まり団結すること」「積極的にチャレンジすること」などの観点から設定している。教育目標については、4つの育みとして「人間尊重の心を育む」「生きる力を育む」「主体性を育む」「社会性を育む」として掲げたものである。

問 新上牧中学校が、単なる新設校にとどまらず、地域と連携し、未来志向の教育を実現する「共創型のモデル校」と全国に発信されることを期待します。その実現に向け、教育委員会・行政の積極的な関与とビジョンの明確化を強くお願いしたいのですが。

答 それにつきましても、全力で携わってまいります。上牧中学校ここにありとか、皆が好きになる学校であるとか、笑顔あふれる学校を目指すことで、より高い教育を提供していきたい。



新上牧中学校イメージ

温暖化対策を子どもたちにも考えてもらおう！



やすなか 安中
かず 和

出前講座開催!!



問 昨今の猛威を振るっている地球温暖化対策として、子どもたちに電気の大切さを教える出前講座というのが近隣でも行われています。上牧町でも取り入れて頂きたいと思いますが、教育長のお考えはいかがでしょうか？

答 我々一人一人の意識が肝要だと思います。そのためには教育が大切です。子どもの時から正しい知識と行動が温暖化防止の一助となるという事は明白です。上牧町の子どもたちには多くの大人と交流して成長して頂きたいと思っていますので、出前講座は私としては大歓迎です。各学校と相談して多くの出前授業が出来たら良いと思っています。今後とも町民の皆様・議員の皆様のご協力をお願い致します。



町内バス停に屋根とベンチの設置拡充を！

猛暑対策はもとより上牧町の魅力UPにも



たけなか 竹中
りょうぞう 亮造

問 記録的な猛暑が続き、日傘で身を守りながらバスを待つ住民の姿が目立った。町内バス停には屋根やベンチが設置されている所と全く整備の進んでいないところがある。猛暑・熱中症対策、風雨対策に安全快適なバス停整備は必要ではないか。

答 バス停に屋根やベンチは必要なものと考えており、令和2年度～5年度に町内主要施設が集中する箇所を中心に、ベンチ5箇所、屋根3箇所を設置した。

問 ラスパや2000年会館の前は整備が進み景観も良くなった。未整備の場所に同様のものを順次広げてはどうか。上牧町の魅力UP、地域の価値向上にもつながり、住民にも喜ばれる。今後の整備の方針は？

答 整備には歩道の幅員確保、隣接土地所有者の同意、財源等の課題がある。整備事業は一旦完了しているが、現在下牧高田線の一部区間でバリアフリーを目的とした歩道整備を予定している。バス停も合わせて整備が可能か再調査を検討している。

問 バリアフリー推進とは同趣旨ではないか。積極的な再検討を期待する。財源説明を。

答 県費補助の公共交通基本計画推進支援事業があり、プレゼンで可否は決定される。

整備されたバス停
(文化センター前)



未整備箇所への拡充を

町営住宅の住民は 安心して暮らせるの…



はっとり まさひで
服部 公英

町営住宅の今後の
計画は



問 町営住宅の入居状況は。

入居状況	入居	空家	除却
第1住宅	28戸	6戸	16戸
第2住宅	31戸	29戸	-
第3住宅	8戸	12戸	-
第4住宅	16戸	14戸	-
第5住宅	35戸	19戸	-
第6住宅	14戸	10戸	-

問 第2住宅の今後の対応は。

答 上牧町営住宅長寿命化計画において、町営第2住宅については耐震補強等を行いません。

- ・居住者の住み替えを進めながら将来的に用途廃止とします。
- ・住み替えをできるまでの間は当面維持管理して行きます。

問 地区改良住宅の利用方針は。

答 入居157戸、空家42戸になっています。
・町営住宅等運営基本方針策定委員会を開催して協議していきます。



上牧町立小学校の 統廃合は断固反対

地域コミュニティが
崩壊する



やすむら しょうじ
康村 昌史

問 令和4年3月に策定された上牧町学校適正化基本計画により、小学校の統廃合は、令和13年度までに行う。ただし、令和13年度の新1年生の児童数が確定する令和7年度に、人口動向の再調査を行い、小学校の統廃合が妥当かの確認・検証を行う。また、この基本計画により令和7年度学校適正化協議会を開催。各委員からの意見質問等の説明を。

答 委員からは、「上牧第二小学校の統廃合に関して、議論の余地があるのかの確認」や「人口推計は、世代交代を踏まえた長期的なデータを示してほしいという意見」等です。

問 小学校は、教育の場であり、地域との交わり地域の活性化、均衡ある上牧町の発展のためにも、できる限り統廃合は避けなければならない。私は上牧第二小学校の統廃合には、断固反対ですが、上牧町立小学校の統廃合についての考えは。

答 上牧小学校と上牧第三小学校の2校を存続させることが基本ですが、3校が存続する可能性は否定しない。人口推計の結果で機械的に判断もしない。通学における安全面の確保・体力的な負担等実際に影響を受ける児童がよりよい教育環境で過ごせるよう検証を行う。

シェアサイクル事業を 多角化してほしい!!



かみむら てつや
上村 哲也

誰にでも使用できる
ような啓発を!!



問 令和6年11月から開始した北葛4町で民間事業者と協力して既存の公共交通では、補いきれない新たな移動手段として実証実験が開始されているが現在までの使用者の声や意見・問題などは。

答 使用するにはスマートフォンかつ電子決済が必要となるため一部の方から利用できないとのご意見などが寄せられている。

問 自転車の確認・補充や消耗品などの点検などの状況は。

答 自転車の補充や稼働状況は民間業者が遠隔で把握しており、適宜現地に部品交換や、修理など行っている。

問 お年寄りや勝手の分からない方々にも使用してほしいが、もっと分かりやすく使用方法の周知をしてほしいが。

答 民間業者と協議していく。

問 ステーションや自転車をもっと増やせるか。

答 ステーションの増設や自転車の増台は、運営者側から相談があれば適宜対応したい。

問 令和9年3月末の実験だがもっと継続し、ささゆり回廊や北葛の名所巡りなど展開し、広域的な盛り上がりを希望するが。

答 業者と適宜協議しながら検討していきたい。

学びを支える 「通級指導」の充実を

それぞれの特性に
応じた支援の状況は



うじはら けんいち
氏原 賢一

問 町内の通級指導の実施状況について、お教えください。

答 通級指導の拠点校は、上牧第二小学校、上牧中学校で、その他児童生徒の状況やニーズに合わせて、指導者が在籍校に赴いて指導を行う「訪問通級」も行っております。

問 担当教員の確保について、お伺いします。

答 通級指導の担当教員につきましては、県費・町費で確保し、令和7年度からは、上牧町のみで実施しておりますが、教育体制の充実を図るため従前の人員数を確保しております。

問 保護者や地域との連携について、お聞かせください。

答 通級指導を受けている児童生徒やその保護者の思いは様々で、特に子育てに不安を抱えている保護者は多数おられます。地域との連携は、子どもの特性を理解し、登下校の見守りなど、必要な支援をいただいております。

問 高校段階への接続支援について、お伺いします。

答 進学先の高等学校等へスムーズな引継ぎを行うために、保護者の同意のもとで個別的教育支援計画や指導計画を活用することができ、それにより、学校が変わっても必要な情報が引き継がれ、安心して進学することができます。

高齢者・障害者へ 更なる支援を！



ゴミの戸別回収の
早期導入を！！



はつこ
あずま 初子

問 ゴミ問題は町民の日常に直結し、快適な生活環境を守るうえで非常に重要です。近隣市町でも進む戸別回収への移行について、本町ではどのようにお考えですか。

答 現時点ですぐに戸別回収へ移行するのは難しい状況です。今後の人員体制の変化に応じて、民間委託も視野に入れつつ、戸別回収の可能性を課題の一つとしてしっかり検討していきたいと考えています。

問 少子高齢化や単身高齢者の増加により、今後さらにゴミ出しが困難となる町民が増えることが想定されます。モデル地区での先行導入などにより、課題や成果を検証するお考えはありますか。

答 現時点で具体的な実施は決まっていますが、モデル地区での試行的な導入も含め、近隣市町村の先進事例や廃棄物処理・運搬業者の動きなどを参考にしながら、導入のタイミングを慎重に検討していきたいと考えています。



物価高に対応した施策を

下水道使用料の
値上げに反対



いしまる のりこ
石丸 典子

問 物価高騰は子育て世帯の食費負担を重くしている。学校給食費への支援と給食費無償化の見解を伺う。

答 学校給食費は、地方創生臨時交付金を活用し、2か月無料にする。給食材料の単価上昇分について保護者の負担にならないよう、令和5年度と令和6年度は10%を、令和7年度は10%を町が負担している。また、無償化には安定的な財源が必要であり、国の動きを注視している。

問 令和8年度に下水道使用料の値上げが予定されている。物価高で生活がたいへんな時期の値上げは見送るべきではないか。

答 下水道使用料は11年改定していない。令和5年度に公営企業会計に移行し、独立採算の運営が基本となっている。一般会計からの繰り入れが増加しているので改定の判断をした。

問 積立金を使った町独自の物価高騰の施策はどうか。

答 11月頃に中長期財政計画の見直しを予定しており、慎重な対応をしていきたい。

小学校適正化の 取り組みについて



コンパクトな町に
魅力的校風・教育の
拡充を！



たけのうち ごう
竹之内 剛

問 小学校の適正化に対する経緯と今後の協議から実行計画、統合の判断基準について伺いたい。

答 令和4年度に策定された基本計画では上牧・上牧第三小学校が存続すると決定されたが、人口推移の変動で令和7年度に再調査を行い現在の3校から2校とする当該計画の妥当性を今年度7月より開催の学校適正協議会の確認・検証で今年度中に最終方針を決定する。

問 3校すべてを存続してコンパクトな町に個性的校風で魅力的な教育を充実させる方向で進めてはどうか。

答 3校存続する可能性を否定するものではないが人口推移の結果をもとに安全面の確保、体力的な負担、熱中症等健康上リスクを踏まえ検証していきたい。

問 教育長に小学校の在り方、思い考えを伺いたい。

答 地方の公立の小・中学校で統廃合が進み上牧町も例外ではない。肝心なのは児童の安全が最優先され学習環境に支障がなく保護者負担が過度にならないことが重要である。学校・地域を繋げて子どもを中心に育てる校区コミュニティも参考に環境を整えていきたい。

学校・落雷事故の 防止対策について

男子生徒2人が
意識不明



きうち としお
木内 利雄

問 落雷事故の防止対策について伺う。「本年4月10日午後6時前、奈良市にある学校のグラウンドに落雷があり、男子中学生5人と女子高校生1人の併せて6人が病院へ搬送された。このうちサッカー部に所属する男子中学生2人が意識不明の状態」という報道があった。

よって、上牧町立学校の登下校中及び部活中の各学校の対策について、答弁を求める。

答 子どもたちの安全に十分留意しながら指導に当たっている。

特に部活動においては、奈良市内の事故以降、雷の危険・兆候が確認された時点で躊躇なく、練習・試合等の活動を中止することを徹底。また、下校時間に雷の危険・兆候が確認された場合は、安全が確認されるまで児童生徒を学校に留め置くこととしている。

その他、登下校中に雷に遭遇した場合は、近くの建物などに避難し、雷鳴が止んだ後も10分以上屋内待機した後、屋外に出ることができるかどうかを判断するよう指導するなどし、子どもたちの安全対策については慎重に対応している。

決算特別委員会報告

9月5日の本会議で設置された決算特別委員会（委員長・康村昌史）は、委員長のほか委員5名（氏原、竹中、安中、竹之内、石丸）で、9月12日・16日の2日間開催されました。委員会に付託された会計は、一般会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、住宅新築資金等貸付事業特別会計、介護保険特別会計、水道事業会計、下水道事業会計の7会計で、それぞれの会計決算について慎重審議の結果、全委員異議無く原案のどおり認定すべきものと決しました。

なお、これら7議案は、9月22日の本会議でも全会一致で可決しました。



令和6年度各会計別決算額

		歳入	歳出	翌年度へ繰越すべき財源	実質収支
一般会計		121億260万円	117億9,272万円	3,856万円	2億7,132万円
特別会計	国民健康保険	24億5,037万円	24億3,608万円		1,429万円
	後期高齢者医療	4億9,618万円	4億9,307万円		309万円
	住宅新築資金等貸付事業	139万円	109万円		30万円
	介護保険 保険事業勘定	23億7,539万円	23億1,583万円		5,956万円
	介護サービス事業勘定	979万円	950万円		29万円

		収入	支出	純利益 (収入-支出)	資金不足 (支出-収入)
水道事業会計	収益的収入支出(税抜き)	4億3,236万円	4億1,364万円	1,872万円	
	資本的収入支出(税込み)	570万円	5,874万円		5,304万円
下水道事業会計	収益的収入支出(税抜き)	5億1,026万円	5億3,580万円	2,554万円	
	資本的収入支出(税込み)	2億4,334万円	3億7,599万円		1億3,265万円

令和6年度一般会計決算

総括

今後の町税の徴収率

問 町税の徴収率は、旧レインボー法人の大型滞納により過去10年間90%前後で推移したが、大手スーパーの進出が決定したので今後の町税の徴収率はどうか。

答 大型滞納の問題が解決すれば徴収率は向上する見込みである。

町債残高の今後の見通し

問 新クリーンセンター分担金や上牧中学校新築工事により町債残高約122億円。財政悪化を懸念するが。

答 大型事業が完了するまで今後数年は増加する。今秋中長期財政計画を改める。

問 旧土地開発公社の三セク債残高は、当初の42億円が21億円に減少。債務の完済はいつか。

答 13年後の令和20年である。

入札及び契約関係

問 入札実施件数83件の種別ごとの内訳は。

答 工事請負契約42件、備品購入契約9件、委託業務26件、賃貸借業務5件、売却業務1件。

町政50周年記念のご当地ナンバープレート追加作成

問 残り少なくなったご当地ナンバープレートは今後も作成するのか。

答 引き続き需要があれば検討する。



歳入

町民税

問 町民税個人分の所得割額は前年比約6,400万円の減の要因は。

答 定額減税のため。

問 町民税法人分の法人税割額は前年比26.6%増の要因は。

答 製造業における販売が伸びたため。

歳入の不能欠損額

問 不能欠損の主な理由は。

答 町民税については国外退去、固定資産税は課税土地名義人死亡に伴う相続人不明、軽自動車税はナンバープレートの紛失・盗難、町営住宅等は生活困窮者である。

地域自殺対策強化交付金

問 第2期自殺対策計画を作成されたが、第1期との差異の説明を。

答 大きな差異はないが自殺ゼロのまちを目指している。

天ぷら油の回収金

問 昨年9月から始めた天ぷら油の回収金の説明を。

答 天ぷら油の回収2,664㍔、リサイクル収益金71,928円。



設置場所：役場北側入口付近



2000年會館

歳出

防災行政無線

問 聞こえづらいという苦情の対処方法は。

答 総務課に連絡して下されば対応する。

防犯カメラ設置工事

問 今後何台まで設置予定しているのか。

答 令和7年度が最後であと4台。今後は最初に付けたものから更新する。

協働のまちづくり公募型補助金

問 毎年応募数が減っているが今後の方針は。

答 一次募集で予算が余れば二次募集を行う。令和7年度から要項を緩和している。

文化センター及び庁舎西館照明器具LED化実施設計委託料

問 LEDの耐用年数は約何年か。

答 耐用年数40,000時間約10年を想定。

難聴児補聴器購入費助成

問 対象者は軽度・中等度の18歳未満。対象年齢拡大などの支援策はどうか。

答 奈良県の助成事業なので県へも要望する。

地域猫不妊手術費助成事業

問 多額の不妊手術費が掛るのに1匹4,000円の助成には疑問であるが。

答 県の地域猫対策支援事業に上牧町も登録しているの
で県の予算の範囲内で補助を活用しながら進める。

有害鳥獣処分委託料

問 有害鳥獣処分委託料の内訳は。

答 イノシシの処分料は40kg以上29,700円10～
40kg未満19,800円。

商工会補助金

問 前年度比50万円増の250万円の説明を。

答 さくら祭りなど町活性化の様々な事業をされている
ため。

笹ゆり回廊整備事業費

問 笹ゆり回廊に案内板が設置され町内の歴史・文化
遺産を有する回廊の存在が明確になったが、笹ゆ
り回廊をさらにアピールする方策は。

答 笹ゆり回廊周知の取り組みを前向きに進める。



道路冠水防止対策事業費

問 上牧二小下の冠水区域防御策の耐久性は。

答 ゲリラ豪雨で冠水したので板で一時的対策をした
が令和7年度に追加測量をおこなう。

防災井戸設置工事

問 設置工事費は予算額の57%の説明を。

答 3社の入札があったが、1社が辞退2社の競争入札
で決定。

問 防災訓練での使用予
定は。

答 今後の防災訓練等で
使用予定。



上牧小学校水泳授業委託料

問 プール授業の委託は上牧第二第三小学校にも導入
予定か。

答 上牧小学校は自校のプールが使用できないための
代替措置だが、今後検証検討。

町民プール管理委託料

問 令和6、7年度の利用状況と暑さ対策は。

答 令和6年度3,299人、令和7年度3,585人。
暑さ対策として1時間に1度10分休憩と老朽化して
いたプールサイドのテントを張り替えた。

第二体育館西側駐車場整備

問 駐車場のフェンスは設置されるのか。

答 フェンスは設置しない。駐車場内の白線は令和7年
度に整備する。

フリースクール事業費

問 フリースクール登録児童生徒は令和6年度11名。今
年度の登録児童生徒数、実際に通っている人数、
卒業後も顔を出している生徒数は。

答 30日以上の不登校児童生徒数は小中学校あわせて
8名。登録児童生徒数10名、継続的に通っている
児童生徒3名、卒業後の利用者1名。

上牧町放課後塾・まきっこ塾

問 学習アドバイザーの人数、資格要件、指導単価は。

答 学習アドバイザー65名。資格要件は小中学校の教
職経験者、免許保持者、小中学校の教員志望の学
生及び幼稚園教諭、保育士免許保持者。指導単価
1時間1,500円。

バスケットゴール設置

問 東公園にハイレベルなバスケットゴールが設置され
たが使用上の注意書きの対応策は。

答 バスケットゴールの支柱に保護パッドを巻きその上
に注意喚起の表示プレートを貼り付けた。

令和6年度国民健康保険特別会計決算

国民健康保険税不能欠損額

問 執行停止理由その他10件の欠損理由は。

答 10件すべてが外国人の国外退去のため。

マイナンバーカードと健康保険証一体化のシステム改修委託料

問 保険証の新規発行終了に伴う資格確認書の発行
数は。

答 令和7年7月現在1,431件。

問 保険税滞納世帯への対応は。

答 特別療養費のお知らせ文書を同封して資格確認書
を交付する。

人間ドック等助成事業

問 この助成の人間ドックを受診している人は対象年
齢の何パーセントか。

答 受診者430人で対象年齢の約14.4%。

問 人間ドックに係る実際の費用はいくらか。

答 一人当たり約38,000円の助成である。

令和6年度後期高齢者医療特別会計決算

後期高齢者医療保険料の不能欠損額

問 執行停止理由その他19件の欠損理由は。

答 19件すべてが相続人の不存在である。

後期高齢者医療保険料

問 令和8年度は2年ごとの保険料改定があるが、子
ども子育て支援制度による新たな負担金があるの
か。

答 後期高齢者医療広域連合で検討中。

令和6年度介護保険特別会計決算

介護保険料の不能欠損額

問 不能欠損額の執行停止理由その他55件の欠損理
由は。

答 生活保護受給世帯になられたり相続放棄されたため。

配食見守り支援事業

問 利用件数は。

答 19件。

問 一食当たりの自己負担額はいくらか。

答 課税世帯300円非課税世帯200円で2社の会社が
配食する。

緊急通報見守り支援事業

問 利用件数は。

答 65歳以上の一人暮らしの方で207軒。

生活支援体制整備事業

問 たすけ愛の利用人数は。

答 延べ208件。

問 たすけ愛サポーターのメンバー数は。

答 20人。

認知症地域支援事業

問 キャラバンメイトとは。

答 県指定の研修を受講し認定を受けた人で主に認知
症サポーターを養成する。

令和6年度水道事業会計決算

水道管更新事業

問 令和7年度に奈良県広域水道企業団に引き継がれ
た利益剰余金の総額と令和7年度の事業説明を。

答 利益剰余金総額約12億1,638万円、管路更新工事
が緑ヶ丘築420メートル、更新設計が服部台地区
1,800メートル。

令和6年度下水道事業会計決算

水洗便所改造資金融資利子補給金

問 水洗便所改造資金融資利子補給金の交付状況は。

答 水洗便所改造費用の融資返済後、町が利子補給す
る事業で交付は1件。

総務建設常任委員会報告



職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

問 この条例改正の理由や目的は。

答 育児を行う職員の、仕事と家庭の両立支援及び子の年齢に応じた柔軟な働き方の実現のため。第1号部分休業に関する取得時間帯の制限をなしとする。第2号部分休業に関しては、1時間単位で1年につき10日を超えない範囲で取得が可能となる。

令和7年度一般会計補正予算(第4回)

物価高騰対応交付金

問 物価高騰対応交付金、約980万円の使途は。

答 食料品などの物価高騰で影響を受ける子育て世帯の家計を支援する。私立保育所・幼稚園、町立幼稚園、小中学校の給食費を2カ月無料にする。

文化資源活用補助金

問 この補助金活用の目的は。

答 「上牧銅鐸復元及び鑄造体験シリコン型制作事業」を実施し、復元銅鐸を作成して住民に触れてもらう。さらに、ミニ銅鐸を作るための型を制作し、それを活用して家族でミニ銅鐸作りを体験できる機会を設け、上牧町の歴史文化に親しみ、学んでもらう。

産後ケア事業委託料

問 利用者数増加の理由と今後について伺う

答 双子や多子家庭の利用が多く、支援が必要な母子に対して今後も利用が見込まれるため補正予算計上を行う。

塵芥焼却場跡地汚染土撤去事業費
59,048,000円

問 土壌搬出の概要として、深度調査で基準値を超過した汚染土のあった箇所(8区画)において、土壌汚染対策法に基づき、汚染のあった深さより1深度(25cm)下から地表までの土壌を搬出、処分を行う。と記載されているが、どのような汚染物質が検出されたのか。

答 鉛、フッ素そしてヒ素である。

問 搬出、処分される土壌容積は。

答 1,700㎥です。これは10トンダンプカーで約200台分になる。

地域公共交通ニーズ調査業務委託料

問 予算600万円の根拠立て、積算根拠は。

答 計画の現況整理で60万円、アンケート調査の検討130万円、集計分析で100万円、報告書のとりまとめで60万円、打ち合わせ会議等で50万円、アンケートの発送・ウェブフォームの構築で130万円、成果品の納品で20万円で積算している。

部活動地域移行検討事業費

問 財政負担、場所代、指導者謝金、用具購入などの費用はどこが負担するのか。

答 この実証事業を実施する間は、教育委員会で負担する。それ以降は検証結果次第により決定する。

問 実施時期及び期間は。

答 令和7年11月から令和8年2月を予定している。

財政調整基金

問 財政調整基金、約8億6,000万円の使途は。

答 中学校建設と「やまとecoクリーンセンター」建設事業における町債の償還が、令和10年度以降増えるので、財政調整基金の活用は慎重に行う。

避難所運営資機材購入契約の締結

契約金額 2,822万6千円
契約相手 株式会社山口商会
奈良支店長 上前 拓也

じんかい
塵芥車両(3トン並びに2トンパッカー車)購入契約の締結

契約金額 2,640万円
契約相手 清水哲自動車株式会社
代表取締役 清水 嘉朗

上牧中学校新校舎厨房機器購入契約の締結

契約金額 1,100万円
契約相手 タニコー株式会社 奈良営業所
所長代理 澤 和史

上牧中学校新校舎家具・什器等購入契約の締結

契約金額 2,624万8,970円
契約相手 株式会社カギオカ
代表取締役社長 鍵岡 種彦

文教厚生常任委員会報告



上牧町下水道条例の一部改正

問 値上げに至った理由の説明を。

答 人口減少による下水道使用料収入が減少し、将来の安定した事業運営が行えなくなり、独立採算制を基本とする下水道事業のため今回下水道使用料を見直した。

問 下水道使用料をいくらにすれば下水道事業会計は黒字になるか。

答 1立方メートル当たり170円。

問 次の料金改定はいつか。

答 総務省の指示により5年毎に料金を見直す。

問 料金の改正により一般家庭の負担額は。

答 約14,800円程度になり、約2,800円程度の値上がりになる。

本会議において石丸議員より、値上げは物価高騰支援策に逆行するものとして反対討論がありました。

また、牧浦議員より、総合的に判断して一定の理解をし、やむを得ないことだと賛成討論がありました。

奈良県葛城地区清掃事務組合規約の一部変更

問 運搬業務を単独で行うことや下水道普及の100%完了を急ぐ等、考慮してどうか。

答 料金体系がどうなるかを視野に置きながら、将来のし尿処理の方策を考えたい。

令和7年度国民健康保険特別会計補正予算(第1回)

問 出産育児一時金について、200万円の補正計上をおこなう理由を。

答 7月11日現在、対象者が12名となり、100万円が不足となり、また、社保離脱や転入等に伴う潜在的対象者2名分の100万円を加えて、200万円の補正計上となった。

問 上牧町の子どもの出生数は増えていると思うが。

答 住民基本台帳によりますと令和5年度100人、令和6年度79人。



令和7年度介護保険特別会計補正予算(第1回)

問 認知症地域支援・ケア向上事業費の補正について、「オレンジ・ランプ」というこの映画を選んだ理由は。

答 近隣の市町村でも評判が良い映画だったので、認知症を理解していただくのに良い映画だと思い選んだ。

問 認知症地域支援・ケア向上事業費85,000円について、「オレンジ・ランプ」の上映場所、募集方法等を。

答 2000年会館「多目的室」で上映する予定で、広報に案内チラシを入れて先着100名を募集。

委員会に付託しなかった議案

人事案件

人権擁護委員 上西 善吉さん(再任)

議会改革特別委員会報告



上牧町議会業務継続計画【議会BCP】 [Kanmaki Town Council Business Continuity Plan]

災害時における議会の組織体制、議員の行動基準等を定め、迅速に効果的な活動を行うことを目的として、令和7年11月1日に策定します。

主な内容は、次のとおりです。

- ・災害時の議会、議員の行動指針
議会の役割、議員の役割
- ・災害時の長との関係
- ・議会BCPの発動基準
地震、風水害、その他
- ・安否確認体制
- ・議会の体制
災害対策会議の設置
設置基準、構成、解散、検証
議員の行動
基本、ケース別
- ・議会事務局の体制
- ・行動時期に応じた活動内容
初動期（発生～3日）
議員は、参集の指示があるまで、地域の応急活動や避難場所等の活動に協力する。
中期（4～7日）
議員は、対策会議からの参集の指示があれば、

速やかに参集し、議会活動に専念する。

後期（8日～1ヶ月）

本会議・委員会を開催し、復旧・復興予算等の審議をする。

1ヶ月～

常時の議会組織体制（復興計画等について議会として審議する。）

議員研修費について

上牧町議会議員研修及び行政視察の実施に関する要綱第6条、研修に要する経費は、研修費、資料購入費及び参加に要する旅費とし、当該年度の合計額を1人50,000円を限度とし支給する。ただし、50,000円を越える費用については、議員個人が負担するものとする。

上記の金額について、物価高騰により議員個人の負担が大きいくことから、各委員からの意見を聴取したところ、現行のままと結論に達しました。

10月7日議会運営委員会、全員協議会

上牧町議会議員研修及び行政視察の実施に関する要綱の一部改正

改正内容は、次のとおりです。

- ・申請者の事務負担軽減のため、申請書等の押印欄の廃止
- ・オンライン申請を可能とするための申請書等の一部文言の改正
- ・使途について、透明化を図るため、報告書のホームページへの公表に関する条文を追加

上記の改正は、令和7年11月1日から施行し、報告書の公表については、令和8年度分の議員研修費から公表することに決定いたしました。

議会 日誌	7月	8月	9月
	2日 広報委員会 9日 全員協議会 14日 広報委員会 28日 広域消防組合議会 第1回臨時会 25日 人権研修会	5日 第2回山辺・県北西 部広域環境衛生組合 議会定例会 15日 奈良県出身戦没者追 悼式 19日 第2回葛城地区清掃 事務組合議会定例会 20日 議員懇談会 25日 正副議長研修会 奈良県広域水道企業 団議会全員協議会	3日 議会運営委員会 議案説明会 5日 第3回定例会 （初日） 広報委員会 8日 リニア中央新幹線 建設促進奈良県 期成同盟会総会 9日 文教厚生委員会 10日 総務建設委員会 12日 決算特別委員会 15日 上牧町敬老会

議案の議決結果

全議案全会一致で議決されました。
※反対等があった議案のみ、各議員の賛否を掲載します。

令和7年第3回定例会

議案名	議決結果
令和6年度決算	
令和6年度上牧町一般会計歳入歳出決算認定について	認定
令和6年度上牧町国民健康特別会計歳入歳出決算認定について	認定
令和6年度上牧町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定
令和6年度上牧町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
令和6年度上牧町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定
令和6年度上牧町水道事業会計決算認定について	認定
令和6年度上牧町下水道事業会計決算認定について	認定
条例改正や補正予算など	
職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	可決
職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について	可決
上牧町税条例の一部を改正する条例について	可決
上牧町下水道条例の一部を改正する条例について	可決
奈良県葛城地区清掃事務組合規約の一部を変更する規約について	可決
令和7年度上牧町一般会計補正予算（第4回）について	可決
令和7年度上牧町国民健康保険特別会計補正予算（第1回）について	可決
令和7年度上牧町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1回）について	可決
令和7年度上牧町介護保険特別会計補正予算（第1回）について	可決
令和7年度上牧町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第1回）について	可決
令和7年度上牧町下水道事業会計補正予算（第1回）について	可決
契約案件	
避難所運営資機材購入契約の締結について	可決
塵芥車両（3トン並びに2トンパッカー車）購入契約の締結について	可決
上牧中学校新校舎厨房機器購入契約の締結について	可決
上牧中学校新校舎家具・什器等購入契約の締結について	可決
人事案件	
人権擁護委員候補者の推薦について	適任

以下の議案については、討論がありましたので起立で採決しました。

（○賛成 ●反対 －除斥 ×棄権 空白は欠席）

議案名	上村 哲也	氏原 賢一	竹中 亮造	安中 和	東 初子	服部 公英	牧浦 秀俊
上牧町下水道条例の一部を改正する 条例について	○	○	○	○	○	○	○
	竹之内 剛	石丸典子	康村 昌史	木内 利雄	遠山 健太郎	議決結果	
	○	●	○	○	議長は採決に 加わりません。	可決	

第15回議会報告会 ～みなさんと語り合う座談会～

本年度は
2回開催
します！



日時 令和7年11月22日(土) 10:00～12:00

場所 上牧町役場3階 委員会室

内容 事前質問に対する回答・報告、意見交換

- 今回の報告会は文教厚生委員会を主催として開催します。
- YouTubeでライブ配信を行いますので、当日来られないかたもオンラインで参加できます。
- 事前質問は11月7日(金)まで受け付けています。

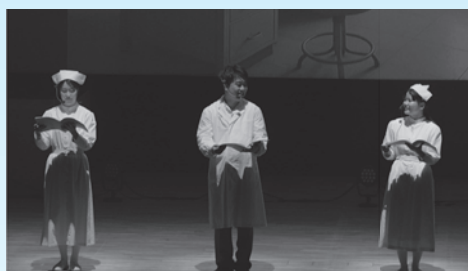


朗読劇「響け!長崎の鐘」

8月8日及び9日、「非核・平和都市宣言のまち」推進、戦後80年・平和祈念特別企画Ⅳとして、朗読劇「響け!長崎の鐘」がベガサスホールにて上演されました。

今回の朗読劇は、昭和20年8月9日、日本に2発目の原爆が投下され、一瞬にして幾万のものが命が奪われ廃墟となった長崎が舞台。地獄のようなその瞬間を生きた長崎医科大学に勤務した永井隆博士を中心に、惨禍に見舞われたその家族、同僚、隣人の姿を描きました。博士は自ら病に苦しみながら被爆者救護に勤しみ、病床に伏せてからも43歳で生涯を閉じるまで恒久平和を訴える数々の著書と遺訓を残します。今を生きる私たちにとって、改めて戦争の悲惨さ、命と平和の尊さを考える機会になりました。

本企画は今年で4回目、過去最多の1,050人の方が観覧しました(去年は960人)。過去3回と同様、脚本、演出、出演はすべて役場の職員。町内の小学生3名も子役として熱演してくれました。年々内容がレベルアップしてきて、評判を聞きつけ町外からの観覧者も増えているとのこと。戦後80年、戦争の歴史を継承することがだんだん困難になる中、演劇の持つ力が再認識されました。来年が楽しみです。



次回の定例会は**12月5日開催予定**

- 第4回上牧町議会定例会 令和7年12月5日(金)午前10時から
- 議会運営委員会 令和7年12月3日(水)午前10時から

編集後記

- ▼今月号から、表紙デザイン等が新しくなりました。
- ▼今年の夏は本当に厳しい暑さでした。6月から8月の日本の平均気温は平年より2.36℃も高く、1898年の統計開始以来で最高だったそうです。3年連続で記録的な暑さとなり、驚かされます。
- ▼こうした異常な暑さが続くと、高齢の方や暑さに弱い方、また暑さ対策に十分なお金をかけられない方々の健康が心配になります。
- ▼来年こそは穏やかな夏になることを願いながら、今後も地域でできる暑さ対策を考えていきたいと思います。

広報委員会

委員長	あずま 初子
副委員長	康村 昌史
委員	石丸 典子
委員	服部 公英
委員	氏原 賢一
委員	竹中 亮造